

第 34 回日本生命倫理学会年次大会 一般演題発表データ事前提出のお願い

2022 年 10 月 4 日

清秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

このたびは第 34 回日本生命倫理学会年次大会に一般演題でご発表を計画していただき、ありがとうございます。

すでにご案内のとおり、一般演題はオンデマンド（録画）にて発表していただくこととなります。なお、口演・ポスターの区別はせず、すべて一般演題として下記の形式となります。以下の要領にて動画ファイルをご提出いただきますようお願いいたします。

1. 発表用動画ファイルをご用意下さい。
  - ・ MPEG-4 (.mp4) 形式
  - ・ 15 分以内（動画ファイルが複数の場合は、合計 15 分以内）
2. ファイル名を以下の統一基準に基づいて設定して下さい。
  - ・ 演題番号\_筆頭演者の名字（アルファベット小文字）\_資料番号（以上 3 項目の間は小文字アンダーバー（\_）でつなく。すべてアルファベット小文字）【例】 A01\_suzuki\_01  
演題番号はこの資料の次ページ以降の一覧をご参照下さい。  
一つの演題において一つの動画ファイルのみ提出する場合は、資料番号は不要です。  
一つの演題において動画を複数提出する場合のみ、資料番号(2ケタ)をつけて下さい。  
一つの演題につき、動画ファイルは5つまででお願いいたします。
3. 動画ファイルを以下の URL（onedrive フォルダ：管理者・加納和寛）にアップロードして下さい。  
[https://kwanseio365-my.sharepoint.com/:f/g/personal/etz88908\\_nuc\\_kwansei\\_ac\\_jp/EipQFzy2iC9BmmPv8ehV-mIBCuFMHSVzhdAKDEYWNsl7Q](https://kwanseio365-my.sharepoint.com/:f/g/personal/etz88908_nuc_kwansei_ac_jp/EipQFzy2iC9BmmPv8ehV-mIBCuFMHSVzhdAKDEYWNsl7Q)

※提出締切：2022 年 11 月 13 日（日）

締切前であれば何度でも再提出・差し替えが可能です。締切後のデータ差し替えには応じられませんのでご了承下さい。

以上どうぞよろしくお願いたします。

（問い合わせ先）日本生命倫理学会年次大会事務局  
加納 和寛 ([jab-conference@ja-bioethics.jp](mailto:jab-conference@ja-bioethics.jp))

## 一般演題（オンデマンド配信）

### A. 生命倫理の基本概念

#### A01. 医療の場面における2つの「信頼」について

石田安実（神奈川大学）

#### A02. 在宅医療・ケアに関わる専門職は「尊厳」をどのように理解しているのか

堂園俊彦（静岡大学学術院人文社会科学領域）

天野ゆかり（静岡県立大学経営情報学部）

本家淳子（浜松医科大学医学部）

青田安史（常葉大学健康科学部）

### B. 研究倫理、産学連携

#### B01. 大規模住民健康調査における倫理課題—「岩木健康増進プロジェクト」の倫理支援を通して—

有澤和代（東京大学医科学研究所先端医療研究センター生命倫理研究分野）

神里彩子（東京大学医科学研究所先端医療研究センター生命倫理研究分野／研究倫理支援室）

#### B02. プラットフォーム型研究におけるダイナミック・コンセントの有用性

有澤和代（東京大学医科学研究所先端医療研究センター生命倫理研究分野）

神里彩子（東京大学医科学研究所先端医療研究センター生命倫理研究分野／研究倫理支援室）

#### B03. 個人情報保護法改正と同意のない観察研究

吉峯耕平（田辺総合法律事務所）

#### B04. 臨床研究担当者会議における研究倫理教育について

脇之蘭真理（藤田医科大学研究推進本部/国立長寿医療研究センター）

平松裕之（藤田医科大学研究推進本部）

山本勇樹（藤田医科大学事務局）

上杉啓子（藤田医科大学研究推進本部）

近藤征史（藤田医科大学研究推進本部）

飯島祥彦（藤田医科大学医学部）

#### B05. ヒト胚の培養可能期間をめぐる専門家・一般市民に対する意識調査

由井秀樹（山梨大学）

武藤香織（東京大学）

八代嘉美（東京都健康長寿医療センター）

渡部沙織（東京大学）

木矢幸孝（東京大学）

藤澤空美子（東京大学）

山縣然太郎（山梨大学）

## C.先端医療技術、医療化

### C02. AI医療における生命倫理

位田隆一（一般社団法人国立大学協会）

### C03. 非医学的対処可能性に基づく偶発的所見返却の検討

大橋範子（大阪大学データビリティフロンティア機構）

### C04. ヒト脳オルガノイド研究に対する市民の態度：実証的研究の現状と展望

片岡雅知（広島大学大学院人間社会科学研究科）

澤井努（広島大学大学院人間社会科学研究科）

## D.医療経済、資源配分、公共政策

### D01. 整調な月経周期の存在は、有経期女性の健康にとって必要条件なのだろうか？

～受刑女性の続発性無月経に対する内分泌療法の可否をめぐって～

中井祐一郎（小池病院産婦人科）

比名朋子（神戸市看護大学）

## E.臨床倫理、看護倫理

### E01. 慢性腎臓病患者と医師は腎代替療法選択に向けた話し合いで何を大切にしているか

—患者と医師の価値観とそのズレを探る—

宇野澤千尋（聖路加国際大学大学院）

鶴若麻理（聖路加国際大学）

### E02. アドバンス・ケア・プランニングにおけるエフェクチュエーションの適用可能性

角田ますみ（杏林大学保健学部）

吉田満梨（神戸大学大学院経営学研究科・経営学部）

### E03. 地域における臨床倫理コンサルテーションに関する実態調査

—都道府県医師会および看護協会を対象とした実態調査—

三浦靖彦（東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部）

堂園俊彦（静岡大学学術院人文社会科学領域）

長尾式子（北里大学看護学部）

神谷恵子（神谷法律事務所）

竹下啓（東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学領域）

### E04. 難しい医学研究用語をかりやすく—CReP・一般の立場委員による解説文案作成の試み

神里彩子（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター生命倫理研究分野）

洪賢秀（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター生命倫理研究分野）

有澤和代（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター生命倫理研究分野）

**E05. 輸血拒否と治療拒否, 診療拒否**

伊藤暢章（バルサム法律事務所）

前田義郎（産業医科大学医学部哲学概論）

**E06. 関係的自律の理論に基づいた人生の最終段階における自律の尊重に関する考察**

園山純代（島根県立大学）

**E07. 臨床倫理とは何か**

服部健司（群馬大学大学院医学系研究科医学哲学・倫理学）

**E08. 病院の看護倫理研修担当責任者が捉える倫理研修の課題**

中尾久子（第一薬科大学）

金岡麻希（宮崎大学医学部看護学科）

潮みゆき（福岡女学院看護大学）

木下由美子（宮崎大学医学部看護学科）

**E09. 医師のダブルエージェント（double agent）性について**

齋藤信也（岡山大学大学院保健学研究科）

**E10. 医学臨床倫理の専門部署に専従の臨床倫理コンサルタント（医師）が配置されたことによる変化と今後の課題**

新井奈々（東京大学医学部附属病院）

瀧本禎之（東京大学医学部附属病院、東京大学大学院医学系研究科医療倫理学）

**F. 生殖医療、産育、家族**

**F01. 非匿名の配偶子提供者を再考する**

石井 哲也（北海道大学安全衛生本部）

**F02. 不妊治療の経験からみた日本社会の諸課題～卵子提供の経験についての Web アンケート調査から**

洪賢秀（明治学院大学・東京大学医科学研究所）

小門穂（神戸薬科大学）

柘植あづみ（明治学院大学）

**F03. 小児・思春期がん患者の妊孕性温存についての情報提供に関する現状と課題**

土屋裕子（立教大学）

櫻井浩子（東京薬科大学）

**G. ケア、介護、福祉**

**G01. ジョイス『ダブリナース』における友愛とケア**

徳永純（狭山神経内科病院）

**G02. 医療的ケア児の参加及び地域共生にかかわるインクルーシブ教育支援と課題  
：公立小・中学校における「教科担任制」に関する検討を中心に**

山本智子（国立音楽大学）

## **H. 終末期医療**

**H01. 当事者のACP（人生会議）**

沖永隆子（帝京大学共通教育センター）

濱田哲郎（ジャーナリスト・元NHK社会部記者）

**H02. 終末期医療のコミュニケーションに関する研究**

—マイクロカウンセリング技法に焦点をあてた看護の一考察—

古賀悦子（九州大学医学部保健学科看護学専攻修士課程）

丸山マサ美（九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野）

## **K. 医療安全、医薬品評価**

**K01. 臨床研究における性別／ジェンダーの考慮に関する欧米の対応**

—COVID-19 ワクチンの事例を契機に

遠矢 和希（国立がん研究センターがん対策研究所）

## **L. 生命倫理教育**

**L01. 高大接続授業から生命倫理教育と多職種連携を考える**

岡野康幸（群馬医療福祉大学社会福祉学部）

半田正（群馬医療福祉大学医療技術学部）

**L02. 宇宙航空研究開発機構における人対象医学研究倫理教育プログラムの開発・検討**

秋元茉莉、松崎友美、松本暁子（宇宙航空研究開発機構有人宇宙技術部門）

**L03. 生命倫理の人間学的基底—「個人の統合性」原則とその教育方法について**

宮島光志（富山大学学術研究部薬学・和漢系）

## **M. その他**

**M01. 継続的な患者参画による患者－研究者の関係性醸成の意義**

—RUDY JAPAN の5年間にわたる実践から

加藤和人（大阪大学大学院医学系研究科）

古結敦士（大阪大学大学院医学系研究科）

磯野萌子（大阪大学大学院医学系研究科）

相京辰樹（大阪大学大学院医学系研究科）

山本ベバリー・アン（大阪大学大学院人間科学研究科）

**M02. なぜ消費者に事故アルゴリズムの選択肢を与えるべきか**

—自動運転車におけるトレードオフ事故の倫理—

高口和也（京都大学大学院文学研究科）

**M03. 医療情報のネットワーク化・共有とビッグデータ分析や AI 学習といった利活用に伴う倫理的配慮の模索過程：二自治体の事例から**

佐々木香織（札幌医科大学）

**M04. 医学教育における「非定型的」な知の位置づけ**

森禎徳（群馬大学大学院）